

# 3000人規模の国際会議場計画を中止して くらし・福祉・子育てに心よせる市政を！

9月8日、なすまどか議員が一般質問を行い、中心市街地の再開発問題、駐輪場の有料化問題、国民健康保険など福祉の充実などを取り上げました。主なものをご紹介します。

## 検証は後回しで「ないからつくる」では あまりにも無責任です！

熊本市、熊本県、熊本大学の3者は、3000人規模の国際会議場の建設について交通センターのある桜町地区への立地で合意したとの記事が地元紙に掲載されました。

「財政的な検証をしたのか」との質問に対して、幸山市長は、「利用者見込みや費用対効果（投資に見合った効果があるのか）の検証はこれから」と答弁。検証もせずに収容規模だけを決めるとい



建設費だけで100億円  
福岡市の国際会議場

は本末転倒です。

再開発によるハコモノ建設は莫大な費用がともない、くらし・福祉の分野にも深刻な影響を与えます。大型国際会議場計画は中止し、既存施設の利活用による取り組みを求めました。

## 障がい者の社会参加をささえる 「タクシー券」と「ガソリン券」の選択制を！



熊本市では、障がい者の社会参加の促進を図るため、福祉タクシー券を交付しています。しかし、重度障がい者の家族からは、「タクシーの利用が難しいことから、ガソリン券との選択制を導入してほしい」との声が寄せられています。

なす議員は、ガソリン券との選択性の導入を求めました。市は「障がい者本人が使っているか確認できない」ことを理由に、「慎重に検討」と回答。

札幌市、仙台市など政令市7市でも実施している制度で、熊本市でできない理由はありません。

## 1000人以下の会議が9割 国際会議の主流は小中規模の会議

右の表は、日本政府観光局が発表した2009年度の国際会議の規模別の開催状況です。1000人規模以下の会議が9割を占める一方、2000人以上の大規模会議は全体の7%に過ぎません。

熊本市では、市民会館や近隣施設を利用すれば2000人規模の会議は開催可能です。

ほとんどの会議は器の問題なく誘致できるもので、熊本市の特徴である地下水資源をいかした自然・環境分野のコンベンション、大学との連携や医療・福祉の先進都市となるよう取り組みを進めるなかで、「主催能力」を引き上げることが、コンベンション誘致につながります。

2000人以上の会議は  
わずか7%

	件数	割合 (%)
100人未満	571	26.9
100~199人	547	25.8
200~299人	300	14.1
300~399人	182	8.6
400~499人	87	4.1
500~599人	56	2.6
600~699人	37	1.7
700~799人	28	1.3
800~899人	33	1.6
900~999人	12	0.6
1000~1099人	43	2.0
1100~1199人	12	0.6
1200~1299人	20	0.9
1300~1399人	7	0.3
1400~1499人	8	0.4
1500~1599人	12	0.6
1600~1699人	9	0.4
1700~1799人	4	0.2
1800~1899人	4	0.2
1900~1999人	0	0.0
2000人以上	150	7.1
	2,122	

千人以下の規模が87%

日本共産党 市議会だより

NO. 769

2011年9月

電話 328-2656

FAX 359-5047

発行：日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

熊本市手取本町1-1 議会棟3階

ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/

# 駐輪場有料化はストップし、気軽にお出かけできるまちづくりを!

9月議会には、中心市街地の市営駐輪場を有料化する条例案が提案されました。これは、市が策定した「放置自転車ゼロ作戦」で位置づけられたものです。来年6月をめどに、市街地の5つの駐輪場を有料化。その他の市営駐輪場は、廃止もしくは民間経営に譲るという方針

です。放置自転車に対して、これまで以上に指導と撤去の強化で対応することも明記されています。この方法で、果たして、「お出かけしたくなるまち」になるのでしょうか？ 一般質問では、市が計画をしている駐輪場有料化についての問題点を指摘し、改善を求めました。

## 熊本市による民間 まかせ市民監視の「放置自転車ゼロ作戦」

- 中心市街地にある1800台の放置自転車を解消するために、行政では（費用がかかるため）スペース確保が難しく、市営駐輪場を有料化することで、民間業者が駐輪場経営に参入し、スペースの確保が図られる。
- 放置自転車に対しては、指導員の指導の強化・撤去の強化で対応。
- 他の交通機関利用者と比べて負担が不公平（車は駐車場代を払っているのに自転車利用者はタダでとめていることは不公平）。

## 提案します 自転車でお出かけしたくなるまちづくり

### ■ 無料で気軽にとめられる駐輪場こそ必要

オランダをはじめ自転車利用が進んでいる国では、有料だった駐輪場を「無料化」する流れが広がっており、利用も大幅に伸びています。

目的地の近くに無料でとめることができる駐輪場の整備が、自転車利用を進めるためには不可欠ということを示しています。

### ■ 商店街近くにラックを設置し放置自転車の解消を!

下通り・上通りに近い場所（銀座通り、シャワー通り等）に自転車ラックを可能な限り設置し、利用しやすい駐輪スペースを確保することで利便性の向上に。



ヨーロッパでは商店近くに無数のラック

### ■ 市の立体駐車場の一部を駐輪スペースに!

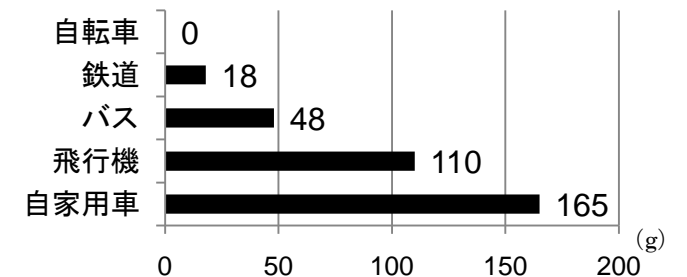
政令市移行後は区役所が設置されるため、今の市役所立体駐車場も利用者が減少することが予想されます。駐輪場へと転用すれば、かなりのスペースが確保できます。

車やバス利用者とは比べ無料で駐輪することは不公平?

## そんなことはありません! 自転車利用で得られる3つのプラス

### ① CO2削減で環境負荷をおさえることができる

右のグラフは、人ひとり1km運ぶときに排出される二酸化炭素の量です。他の交通機関と比べ、自転車が環境に優しい乗り物であることが一目瞭然です。



### ② 商店街・地域経済にも貢献

一度に買い物できる金額は少ないものの、車での来街者に比べ、より頻繁に街に出かけ買い物をする自転車利用者。自家用車の約8倍の金額（車1台のスペースあたり）を消費しており、地域経済にも貢献しています。

### ③ 健康増進で体にもプラス

アメリカのポートランドでは2040年までの自転車利活用推進計画を策定。この計画を実行することにより、死亡率が低下し医療費の抑制効果等で約600億円の費用削減効果があるとの試算もされています。